

産学の研究成果を紹介

岡場で発表会 精密加工や情報通信



岡山県内の大学や企業が研究成果を紹介する「岡山リサーチパーク」で開かれた。

9団体・社が、精密加工、情報通信など6分野46テーマで出展。

企業や大学が研究成果を紹介した会場

担当者がパネルや試作品を使って研究成果を説明すると、訪れた経営者や開発担当者らが聞き入っていた。

吉備国際大の森下元賀講師は、食べ物のみ込むのが困難な人が誤って気管に飲食物が入ってしまうのを、炭酸飲料を使って予防する研究を披露。「炭酸の刺激が口や喉から脳に伝わり、のみ込みやすくなる。高齢者の飲食をサポートする製品開発に役立てたい」と

話していた。

建設コンサルタントのE&Dテクノデザイン（岡山市）は、トラックなどの通過で振動が住宅に伝わるのを緩和する工法を紹介した。発表会は産学官連携を促進させるため毎年開催しており、20回目。（内田博文）

（C）山陽新聞社 無断複製・転載を禁じます。